

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより 令和6年度

令和6年4月30日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

豊かな人間性や社会性を育む貝取小の異学年交流

校庭の木々や街路樹の若葉の新緑がとても美しい季節を迎えました。

始業式、入学式から2週間が過ぎて、新しい環境に慣れてきた子供たちは、休み時間になると学年の枠を超えて元気に校庭で遊んでいます。休み時間が終わると高学年が手本となり、時間を守ってそれぞれの教室に戻っていきます。どの学年も気持ちの切り替えがスムーズにできて、落ち着いた雰囲気の中で、授業に集中して学習を進めています。

朝会や集会など、全校児童が集まる時には、学年ごとに整列します。すでに1年生も列に加わり、両側の2年生と3年生の並び方や話の聞き方を見習って、上手に整列しています。

「1年生を迎える会」では、各学年が役割を分担し、学校全体で協力して新入生を歓迎しました。1年生は、最後まで笑顔を浮かべて参加し、「貝取小学校は安心して楽しく生活できるところだ」と実感できたことと思います。

今年度の学年間交流は、これまでの「きょうだい班」（1・6年、2・5年、3・4年がペアのグループ構成）から「なかよし班」（全学年で1グループを構成する）の活動に変わります。

休み時間には、なかよし班ごとに集まって遊んだり、全校遠足に出かけたりすることも計画しています。学年ごとの立場や役割を互いに見たり、体験したりすることを通して、次年度はどのようにすればよいのかということを学んだり、高学年の活躍を見てその役割にあこがれの気持ちを抱いたりするなど、子供たちの豊かな人間性や社会性を育むための取り組みを重ねていきます。

運動会の競技種目、遠足や校外学習などでは、低（1・2年）中（3・4年）高（5・6年）の学年ブロックごとの異学年交流も実践していきます。

【3年1組担任及び算数少人数指導その他の体制変更について】

未配置となっていた3年1組の担任に臨時的任用教員（産休代替）を任用することが決まりました。

新たに、みどり学級にも臨時的任用教員（産休代替）を任用することと併せて、3年1組の副担任であるエデュケーション・アシスタントを新規で任用します。

3年1組の担任代理を務めていた、水野太喜・主幹教諭は算数少人数指導を担当し、算数少人数の授業は、該当学年で5月中旬より開始します。始業式以降3年1組担任未配置の状況に対しまして、ご心配をおかけしました。保護者の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。新体制は以下のとおりです。

算数少人数指導 水野 太喜（主幹教諭）

3年1組 担任 松川 浩美（臨時的任用教員）

3年1組 副担任 境 俊紀（エデュケーション・アシスタント）

みどり学級専科 山口 貴寛（臨時的任用教員）